

4年間の学び

看護学科では、教養や看護学の基礎知識を基盤に、
講義・演習・実習を通して看護の専門知識・技術・態度を
主体的に学び、高い志を持ち学習に取り組めます。



看護師を目指す谷川さんの時間割

[2年 前期]

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限 8:40-10:10	診療に伴う 援助技術	Point 1 フィジカル アセスメント 技術	人間関係 方法論	生涯発達 看護概論	
2限 10:20-11:50				免疫	英語Ⅱ
3限 12:40-14:10	自習スペースで 実習の 予習と復習	女性生涯 看護概論	解剖学実習の 予習	国際看護学	課題の自習
4限 14:20-15:50		社会福祉と 社会保障	Point 2 体の構造と 機能Ⅲ (解剖学実習)	災害看護学	Point 3 症候学
5限 16:00-17:30		生涯発達 看護概論			

解剖学の実習が充実！
先生や学生同士の
仲が良く、学習意欲が
高まります！

Point 2
解剖学実習では、人体の構造や
仕組みを実際に見てその機能を
学びます。

Point 3
医学的な知識を統合し、症状から
疾患を捉え、看護に必要な知識や
思考を深めます。



看護学科 3年 谷川 真生さん
【福岡県 久留米商業高等学校出身】

1年次

人間や社会、医療や看護に関する基礎知識や技術を身につけていきます。

2年次

医療や看護に関する専門的知識を身に付け、
看護の方法や技術を学んでいきます。

3年次

病院に入院する人々や地域で暮らす人々への看護を臨地実習で
実践していきます。

4年次

自己の将来の看護師像を描きながら、
総合的な課題に取り組んでいきます。

感性と創造	人と言語	英語Ⅰ オーラルイングリッシュⅠ 韓国語 中国語 ドイツ語	英語Ⅱ オーラルイングリッシュⅡ	3・4年生交流座談会 先輩方が、学習の工夫点 や就職対策など体験を もとに詳しく教えてくれ るので、心強いです。 	国試対策 3年次から定期的に全国模試を受けるこ とで弱点を把握し、実習での学びと結び つけながら学習を進めていくことができ ます。教員の支援や、仲間と一緒に学び 合うことで、 国家試験に 向けた学力を 着実に伸ばし ています。 
	人と文化	ボランティア活動 久留米大学の理念と歴史 国語表現法 心理学 教育学 社会学 環境科学 比較文化論 音楽と癒し 生活と経済 文学 家族社会学	国際看護学		
	くらしと社会・倫理	倫理学 生命・看護倫理 くらしと法	社会福祉と社会保障		
人間と健康	からだと生活	くらしとサイエンス 情報学 からだの構造と機能Ⅰ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 人間工学 からだの代謝 からだの構造と機能Ⅱ	免疫 からだの構造と機能Ⅲ 臨床栄養	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護管理演習 保健医療福祉政策演習 公衆衛生看護実習 公衆衛生看護技術演習
	医療	微生物と感染 病理学	症候学 疾病治療論Ⅰ 疾病治療論Ⅱ 臨床薬理	臨床心理学	
看護の実践	看護の基本	看護学概論Ⅰ 生活支援実習 こころの生涯発達 地域・在宅看護概論	生涯発達看護概論 女性生涯看護概論 家族看護学 療養生活支援実習	看護過程Ⅱ 健康教育方法論	看護の統合・発展 看護管理 がん看護学 最先端の医療と看護 看護学概論Ⅱ 多職種連携教育 看護総合演習
	看護技術	生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ	人間関係方法論 フィジカルアセスメント技術 診療に伴う援助技術 看護過程Ⅰ 回復期援助技術		
	公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	公衆衛生健康支援論	公衆衛生看護活動論	
看護の統合・研究	統計・推計学	研究Ⅰ 疫学	研究Ⅱ 保健医療統計学	研究Ⅲ	看護統合実習
看護の実践： 臨地実習	生活支援実習	看護の実践： 臨地実習	療養生活支援実習	看護の実践： 展開	看護の実践： 臨地実習
		看護の実践： 方法	地域・在宅生活支援論 急性期看護論 慢性期・回復期看護論 高齢者生活支援論 小児生活支援論 ウィメンズヘルス論 災害看護学		

実習期間：1週間

実習期間：2週間

実習期間：18週間

実習期間：2週間

※2025年入学の学生のカリキュラムです。カリキュラムは変更になる可能性があります。

PICK UP カリキュラム



からだの構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

からだの構造と機能ⅠとⅡは1年次前期と後期に実施され、看護全
般の基礎となる解剖学と生理学を講義形式で学びます。2年次には
からだの構造と機能Ⅲとして人体解剖学実習が実施されます。



診療に伴う援助技術

診療に伴う援助技術は、看護援助の基本となる知識や技術の修得、エビデンスに基づいた安全・安楽な援助技術の具体的な方法の検討、看護師の役割を理解し対象者に配慮する姿勢を身につけることを目標としています。演習グループで協同的に学び合い、援助技術の根拠や方法の理解を深めて、技術演習を行います。また、対象の状況を考察、計画し、演習の実施内容を評価することで、より良い援助技術を検討していくことに繋がっています。

PICK UP e-na(evening nurse aid)の活動紹介

e-naの活動紹介 久留米大学病院では本学学生を夜間看護補助者として採用する、e-na(evening nurse aid)という制度を設けています。

看護学科4年 看護学科4年 看護学科2年
呉 采瞳さん 大谷 莉未さん 川口 世羽さん
【鹿児島県 樺南高等学校出身】 【宮崎県 宮崎南高等学校出身】 【福岡県 筑紫中央高等学校出身】



大学病院で夜間看護補助者として働く経験は将来必ず役に立つと思い、参加を決意。食事の配膳や介助、車椅子移送や病棟の環境設備の補助などを行いながら、実際の看護技術を間近で見て学ぶことができました。また患者さんと会話をする機会が多くあり、コミュニケーション能力も高まったと感じています。本学科の手厚い学修サポートを通じて「人を幸せにする看護」を習得できるよう、今後も更に励みたいと思います。

